

2020年5月15日  
株式会社東北むらせ

日本人の主食である“お米”で新型コロナウイルス患者の  
治療にあたる医療従事者を支援！  
**医療従事者への食品支援プラットフォーム WeSupport に  
パックごはんを提供**

株式会社東北むらせ（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：村瀬慶太郎）は一般社団法人 RCF、オイシックス・ラ・大地株式会社、ココネット株式会社（セイノーホールディングスグループ）が連携して運営する、新型コロナウイルス感染症の予防や治療にあたる医療従事者への食品の無償支援を行うプラットフォーム「WeSupport」に対し、パックごはんの無償提供を致しました。なお、感染拡大防止と病院側の受け取り負担軽減のため非対面による配送を予定しています。

「WeSupport」は、現在東京都の感染症指定医療機関を中心に、約 20 か所の医療機関を対象に支援を行っており、今後順次対象医療機関を増やしていく予定です。

■ 「WeSupport」への食品提供について

国内での新型コロナウイルスが拡大する中、お米という日本人の主食を生業にしているむらせグループの一員として、最前線で働く医療従事者を「食」でサポートするプラットフォーム WeSupport の取組に賛同し、忙しい中でもレンジアップをして手軽に食べられる“パックごはん”を提供する事と致しました。今回の取り組みが、医療従事者の皆様をサポートする一助となれば幸いです。

提供商品

- ・直火炊きごはん 200g 576 個
- ・八種彩り豆の玄米ごはん 150g 1,128 個

■ 医療現場の課題はマスクや防護服不足だけじゃない…食の重要性

中国河北省で新型コロナウイルス感染症患者の治療を行う医療施設で働く医療従事者へのメンタルヘルスの調査（※）によると、対象者の 50.4%にうつ状態、44.6%に不安障害、34%に睡眠障害があるという結果が出ており、精神的な負担の大きさがうかがえます。

医療現場への懸念として、マスクや防護服などの物資不足が代表的なものとして挙げられますが、医療従事者のストレスケアや食事を通じた健康面のサポートは見落とされがちです。

実際に日本のいくつかの医療機関へヒアリングを行った際にも、寝る間も惜しんで感染予防や診療などの業務にあたっているため、「満足に食事を取れていない」「栄養バランスを考慮した食事が取れていない」などの声が上がっています。患者を優先するために職員用の給食がストップしていたり、夜食が出なくなっていたり、やむをえず災害備蓄用の食品を食べるしかないなど、食環境も悪化しています。このような状況が続くと、医療提供体制の継続が危ぶまれます。

このような背景を踏まえ、応援をしたい企業から個別に医療機関に連絡や物資が届くなどの負担を最小限にするため、医療従事者が欲しい食品の情報と、支援を希望する企業や団体をマッチングし、物流を取りまとめる役割を果たすために「WeSupport」は2020年4月20日に設立されました。この取組を通して医療従事者を支援することで、危機的状況にあるとされる医療体制の継続の一助になればと考えております。

※引用元：『JAMA Network Open』2020年3月23日（調査対象者：1257人、看護師61%、医師39%）

「WeSupport」についてはこちら：<https://wesupport.jp/>

#### （参考）「WeSupport」取り組みイメージ図

